

事業所における自己評価総括表

○事業所名	＼くまーず未来 春日井ぶち		
○保護者評価実施期間	2026年 7月 6日	～	2026年 7月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2026年 7月 6日	～	2026年 7月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみながら参加できる小集団活動を提供しています。	お子さまの発達に合わせて、お友達や職員との関わりを持ちながら「楽しい!」「できた!」「もっとやりたい!」と思えるよう活動内容を工夫しています。 楽しみながらルールやマナーを守る習慣づけを意識して取り組んでいます。小集団活動に参加することで、ルールのある遊び方、友達との関わりを楽しく経験できるように工夫しています。	日々のミーティングにて、全職員で活動内容を様々な視点から意見を出し合って検討しています。活動後は参加状況などを振り返り、反省点、今後に向けて改善するところなどを話し合っています。この取り組みを続けていくことでより充実した活動を提供できるようにとめていきたいと思っています。
2	発達段階に合わせた「ぶちレッスン」(個別療育)を提供しています。	毎回「できた!」という達成感を感じながら、スモールステップで成長しているレッスンを継続して提供しています。 お子さまの発達段階、その日の状況などに合わせて柔軟に対応し、やらされるではなく、自分からやりたくなるレッスンであるよう意識しています。	保護者様のご要望をふまえて、お子さまの発達段階や、これまでのレッスンの取り組み状況なども合わせてレッスンの内容をアップデートしております。 理学療法士や作業療法士などのアドバイスも取り入れてよりきめ細かく支援していけるようにしていきたいです。
3	安心して過ごせる環境で、日常生活の力を育んでいます。	保育士(ベテラン)が多数いるため、発達段階や特性に合わせた関わり方を工夫し、排泄、着替えや挨拶など日常生活の力を少しずつ育てていきます。小さな変化も見逃さず「できた」を一緒に喜びながら安心して過ごせる環境づくりを大切にしています。	日常生活の力を培いながら、就学に向けて伝える力、考える力、つながる力を養う支援を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等について、保護者向けの周知、説明が不足していたと思われる。	保護者様へ向けて、周知する機会が足りていませんでした。	保護者向けに必要な情報を発信する機会を増やすようにしていきたいと考えております。
2	保護者会、保護者同士の交流の機会が少ないと思われます。	日々の支援や保護者への個別対応を優先しており、保護者同士が交流できる場を計画的に設ける機会が十分ではありませんでした。また、保護者の就労状況やより時間等がそれぞれ異なるため、参加しやすい日時や内容の設定が難しく、交流の機会を設けるための体制づくりが不十分でした。	春日井市の5事業所合同の保護者会は年2回開催しておりますが、当事業所だけの保護者会も開催できるよう調整していきたいと考えております。 親子遠足、＼くまフェスティバルなどのイベントを保護者間交流の場としても利用していただけるように周知していきたいと考えております。
3			